

- (4) ゴシック体などについては、重要語句または定理およびそれに近い文章や語句はカギではさんだ。「解答」の答えの下線は、省略した。なお、「①式」などの表現は、点字の小カッコを使用して、 $\textcircled{1}$ などとして表現した。
- (5) キャラクターについて
本文の随所にキャラクターが登場し、その吹き出しに数学学習のポイントとなるコメントが述べられている。「ヒントさん」と名前をつけて、そのコメントを本文に挿入した。また、式の変形などの説明が点字では式と併記することが難しいときなど、このキャラクターのコメントとして挿入した。
これについては、各学年の「この本の使い方」の部分に次のように記した。
「ヒントさん いろいろな場面に登場して、考え方や問題を解くためのヒントを示してくれます。」
- (6) 原本にある「かき入れなさい。」などは、別紙にかくことも考慮して「かきなさい。」や「ししなさい」などと表現を変更した。これについては、次の「2 編集の具体的内容」には示さなかった。
- (7) 数学記号については、日本点字委員会の『点字数学記号解説暫定改定版』を基本とするが、今年度より単位カッコについては、紹介するだけで用いないことを原則とした。従来通り、普通の文字の表現と異なる記号については説明を加えているが、次の「3 資料」のように数式指示符、分数囲み記号、単位カッコについての説明を扉の後に添付した。また、数式指示符、分数囲み記号、単位カッコについては、以下のように扱っている。
- ① 単独の記号を含め、数式の始まりを示す数式指示符を前置することを原則とした。ただし、図や表の中では、スペースの関係から省略することもあるとした。文字式の縦計算は、全体を1つの式と解釈し、数式指示符をつけるときは、最初だけに前置したが、連立方程式の縦計算では、それぞれの等式が独立しているものと解釈し、それぞれの等式や演算記号に数式指示符を前置した。また、①×2などは、一般の式ではないと解釈して数式指示符をつけなかった。
 - ② 簡単な分数を含め、分数囲み記号を用いた。
 - ③ 各学年とも、文字式でラテン文字の単位が最初に使われる箇所でも、単位カッコを紹介することとした。
- (8) 触る図形は、触覚の分解能が視覚の数十分の1から数百分の1と低いこと、触覚情報がスキニングによっているため図全体を理解するのに相当な時間がかかること、そして立体の把握が困難であることなどにより、その情報量は目で見える図形の情報の1万分の1程度といわれており、普通の文字の図と同等には扱えない。そのため、以下のように扱っている。なお、実際の指導に当たっては、模型教材などを活用するなどの配慮が必要である。
- ① 原典に掲載されている図や写真、挿絵のうち、必要なものはできる限り触図化した。ただし、挿絵や写真のうち、触図化が困難であり、本文を理解する上で必ずしも必要でないものは省略し、必要に応じて文章による説明を加えた。なお、原典の左上隅にある一連の図については、第2学年の一部を除き省略した。
 - ② 図の製版は裏面に影響するため、図は本文の後に、ページの下方に図の区切り線を引いて書くか、あるいはページを改めて書いている。したがって、関連する本文の近くに図を挿入することができない場合も多いため、該当する本文中に、章ごとの一連番号とした図番号（「ズ2-2」など）をつけるとともに、図にも同じ番号をつけて対照させている。ただし、巻末のページの「いろいろな問題」、「自由研究」など、章とは別の図番号は、「イー1」「ジー2」などとしている。なお、次の「2 編集の具体的内容」では、図番号を記さず、すべて「図〇〇」と表現した。
 - ③ 図の外形線や重要な線は、触刺激の強い中程度の凸点の連続線や点線を用い、補助的な線や展開図の折り線などには小点の連続線や点線を用いた。グラフは、原則として座標軸以外の方眼線は読み取りに支障をきたさない限り凹線とし、他は凸線や凸点とした。なお、方眼や座標の目盛り線など、そのままでは密度が高く触読の困難なものは、適宜省略した。
 - ④ 寸法線や寸法補助線は、すべて描くと触図の読み取りを困難にするため、誤解のない限り省略して必要な部分のみとした。なお、矢印については、寸法線など範囲を示すだけのものは省略したが、関数の増減などを示す部分については、触読が困難と思われる場合もできるだけ残した。

また、図中の単位については、(注)として図の最初にまとめて記す方法なども用いた。

- ⑤ 立体図形については、見取図は触図にするとほとんど理解できないので、手で実物を触って展開した形に近い、第3角投影図法の表現によった。その場合、「平面図」、「立面図」などの表現はとらず、「上から見た図」、「前から見た図」、「…の断面図」などと表現した。厳密には「真上から見た図」、「底面と平行で…の面と直角に、…の方向から見た図」などとすべきであるが、かえって理解しにくい場合もよくあるので、概略が理解できる「上から…」、「前から…」などの表現にとどめた。

なお、次の「2 編集の具体的内容」では、見取図を単に「上から見た図」、「前から見た図」として表現した場合は省略し、それ以外の場合について説明を加えた。

- (9) 電卓については、音声あるいは触読ピンで出力する機種を利用することができる。ただし、現状では、小型で廉価な機種はルートキーがなかったりなど、盲人用電卓の環境は必ずしも十分ではない。そのため、応用可能な部分については、盲人用そろばん(『盲学校小学部点字教科書編集資料』「算数」参照)や、コンピュータを音声などの出力によって利用したりするなどの工夫も必要である。平方根表は、原典にはないが、このような事情を考慮し、3学年1巻末に入れることとした。

2 編集の具体的内容

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
1年	4~5	写真	差し替え	写真を削除し、「3月のある日の最高、最低気温」として表した。	編集方針(8)①に基づく。
	6	写真	差し替え	体温計の図を触図化した。	編集方針(8)①に基づく。
	7	写真	差し替え	駿河湾と富士山の写真を触図化した。	編集方針(8)①に基づく。
		図	差し替え	琵琶湖の図を触図化した。	編集方針(8)①に基づく。
	8	図	追加	地図のほかに、「ある日の予想最高気温」を表にした。	編集方針(8)①に基づく。
	9	13	追加	(注) 分数は分数囲み記号を用いて $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ (分子) $\frac{\text{分母}}{\text{分子}}$ (分母) $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ と書く。 問2の④, $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ は、この表記を用いた分数表現で、「マイナス2分の1」と読み、数直線上で「原点から負の方向へ2分の1」に対応する点を示している。	各学年とも分数の初出部分に説明を加えた。
	11	図	追加	ノート部分に「-3も+3も絶対値は3である。」と付け加えた。	編集方針(8)①に基づく。
	20	写真	修正	問5の写真を削除し、文中に山陽新幹線の駅であることを示唆する文言を付け加えた。	編集方針(8)①に基づく。
	30	3	修正	$2 \times 2 \times 2 \times 2$ は $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ と表し、2の「4乗」、 $2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2$ は $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ と表し、2の「5乗」という。このように、同じ数をいくつかかけたものを、その数の「累乗」といい、記号「 $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ 」の次に、書いた数を「指数」という。累乗の指数は、かけた数の個数を示している。	2乗と3乗の表記が略記されるため、4乗以上で説明した。
		9	追加	点字では、特に2乗と3乗について指数部分にそれぞれ「 $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ 」と「 $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ 」という記号が定められており、5の2乗は「 $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ 」、2の3乗は「 $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ 」と簡単に表すことができる。 (注) 墨字では $2 \times 2 \times 2$ のことを図○○のように書き、かけあわす数の右かたに小さく指数を書くことになっている。	
	32	22	追加	(注) 例3では $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ は分子が「マイナス3」で分母が「5」、すなわち「5分のマイナス3」を意味している。一方 $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ は、絶対値が「5分の3」の分数に「マイナス」という符号をつけたものを意味している。	1学年では、マイナスを含んだ分数の表記の説明を加えた。
	37	図	追加	地図のほかに、「各都市の時差」を表で示した。	編集方針(8)①に基づく。
	41	写真	差し替え	写真を削除し、表で示した。	編集方針(8)①に基づく。
44	5	修正	図は、それぞれ「正方形○個」とし、「マッチ棒の本数を求める式」は削除した。	編集方針(8)①に基づく。	
47	写真	削除	切手の写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。	
48	図	削除	立方体の見取り図は削除した。	編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
1年	50	写真	削除	自動車のスピードメーターの写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		18	修正	江戸時代の記号は、同じ形を凸点で示した。	編集方針(8)①に基づく。
	52	写真	削除	問5の雷の写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	55	14	修正	例3の網掛けの説明部分を、ヒントさん「最初に文字の部分が同じ項を集めたんだね。」とした。	編集方針(5)に基づく。
	56	図	修正	Qの鉛筆と消しゴム図は削除し、表にした。	編集方針(8)①に基づく。
	59	2	修正	ノート部分を削除し、式中に $= \frac{(2x+1) \times 2}{1}$ を追加した。また、ヒントさん「約分して分母が1になった場合、分母は省略できるね。」を追加した。	編集方針(5)に基づく。
	61	13	修正追加	π のルビは、次のように表した。 これを $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ (パイ) と表す。 (注) 墨字では $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ を π のように表す。	編集方針(8)①に基づく。
	62	図	削除	直方体の見取図は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	65	絵	削除	卵、絵かきの絵を削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	66	図	差し替え	天秤の図は触図で示した。	編集方針(8)①に基づく。
	67	図	差し替え	12個の天秤の図は、表に変更した。	編集方針(8)①に基づく。
	70	図	修正	式と図に番号をつけ、対応が分かるようにした。	編集方針(8)①に基づく。
	77	10	修正	文中に番号を入れ、説明文との対応が分かるようにした。	編集方針(8)①に基づく。
	80	図	修正	人の絵を削除し、3種類の数直線を1つの数直線にまとめた。	編集方針(8)①に基づく。
	83	図	差し替え	図を文章で表した。	編集方針(8)①に基づく。
	85	写真	差し替え	電卓の写真に触図化した。	編集方針(8)①に基づく。
	86~87	図	差し替え	浴槽の絵に触図化した。	編集方針(8)①に基づく。
	87	2	追加	表の前に、「Bさんの家の風呂に水がたまっていくようすは表○○のとおりです。」を加えた。	編集方針(8)①に基づく。
	92	16	追加	(注) 数直線上「-3」、「5」上の大きな点 $\ddot{\cdot}\bullet\ddot{\cdot}$ は、その点を含んでいることを表す。	数直線上の点 = \bullet = の説明を付け加えた。
		23	追加	(注) 数直線上「6」上の点 $\ddot{\cdot}\circ\ddot{\cdot}$ は、その点を含んでいないことを表す。	数直線上の点 = \circ = の説明を付け加えた。
93	図	差し替え	ばねばかりの図に触図化した。	編集方針(8)①に基づく。	
95	写真	差し替え	モニュメントの写真を文章化した。	編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
1年	104	図	修正	例題の1目盛り0.5の座標軸を1目盛り1の座標軸に修正した。	編集方針(8)①に基づく。
		図	追加	問1に第1象限を中心に拡大した1目盛り0.5の座標軸を付け加えた。	編集方針(8)①に基づく。
	107	図	修正	1目盛り1の座標軸を1目盛り2の座標軸に修正した。	編集方針(8)①に基づく。
	108	写真	差し替え	恐竜の写真に触図化した。	編集方針(8)①に基づく。
	112	写真 図	差し替え	高速道路の写真, 紙束の図を文章化した。	編集方針(8)①に基づく。
	113	図	追加	福井県の地図に触図化し, 尺度を付け加えた。	編集方針(8)①に基づく。
	116~ 140	図	削除	偶数ページ左上の図を削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	117	15	修正 追加	本文を次のように修正し, 風車と飛行機を正面から見た図を追加した。 「図〇〇の飛行機を正面から見た図や図〇〇の桜の花の形は線対称の図形になっています。また, 図〇〇の風車の羽根の形は点対称の図形になっています。身のまわりから, 線対称な図形や点対称な図形になっているものをさがしてみよう。」	編集方針(8)①に基づく。
	118	23	追加	次の注を追加した。 (注) 墨字では, 垂直の記号 $\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}$ を \perp と書く。	編集方針(7)に基づく。
	119	14	追加	次の注を追加した。 (注) 墨字では, 角の記号 $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ を \sphericalangle と書く。	編集方針(7)に基づく。
	121	8	追加	次の注を追加した。 (注) 墨字では, 平行の記号 $\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}$ を \parallel と書く。	編集方針(7)に基づく。
	122	13	追加	次の注を追加した。 (注) 墨字では, $\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}$ を $\overbrace{\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}\ddot{\vdots}}$ と書く。	編集方針(7)に基づく。
	125	2	修正	問題文の初めの部分を次のように修正した。 「図〇〇は大文字のアルファベット, F, H, N, P, S, U, Xをそれぞれ表している。これらの文字のなかから, ……………。」	編集方針(8)①に基づく。
		8	修正	㊦の角をaの角に変更した。	編集方針(8)④に基づく。
126	3	追加	正六角形の作図は, 図だけでなく, 次のような作図の説明を加えた。 ① 適当な長さの線分をかき, コンパスを合わせる。 ② ①で合わせた長さを半径とする円をかく。 ③ 円周上に1点Aをとり, Aを中心として半径と等しい長さで円の一部をかいたとき, もとの円周と交わるところに印をつける。	編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
1年	126			④ 印をつけたところを中心として、③と同じように印をつける。 ⑤ Aの位置に印がつくまで④の操作を繰り返す。 ⑥ 円周上につけられた6つの印をAから順に定規で結ぶ。	
	127	図	削除	$\triangle ABC$ の図を削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		11	追加	次の注を追加した。 (注) 墨字では、三角形の記号 \triangle を Δ と書く。	編集方針(7)に基づく。
	131	2	修正	Qの本文の初めの部分を次のように修正した。 図○○のように点A、点Bをとります。線分ABを書き、その両端の…………	編集方針(6)、(8)①に基づく。
	132	1	修正	「たしかめ3」に本文の初めの部分を次のように修正した。 図○○のような線分ABをかき、線分ABの垂直二等分線を…………	編集方針(6)、(8)①に基づく。
	137	8	修正	基本の問題2の初めの部分を次のように修正した。 図○○のような線分ABをかき、線分ABの中点を…………	編集方針(6)、(8)①に基づく。
	140	絵	削除	農場の様子を表した絵は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	141	5	追加	折り紙で正三角形と正八角形を作る方法は、図だけでなく、次のような折り方の説明を加えた。 (1) 正三角形 ア 折り紙を正方形ABCDとする。辺ABと辺DCが重なるように半分に折り元に戻す。この折り目をEFとする。 イ 点Cが線分EF上にくるように、点Bの位置で紙を折る。このとき、点Cが移った点をC'、折り目がついて辺CD上にできた点をGとする。 ウ 点C'を通り、辺BCと平行になるように正方形の上部を折る。このときできた折り目をHIとする。 エ 点Cを元の位置に戻す。 オ 線分BHが線分BGに重なるように折る。 カ 線分C'Iが線分C'Bに重なるように折る。 (2) 正八角形 ア 正方形ABCDを2つの対角線、AC、BDでそれぞれ折り、元に戻す。このとき、対角線の交点をEとする。 イ 点Aが点Eと重なるように折り、元に戻す。この折り目をFGとする。 ウ 線分AGが線分FGと重なるように折る。折り目が線分AF上と交わった点をHとする。	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
1年	141			エ 線分FHも、線分FGと重なるように折る。 オ 残りの点B, 点C, 点Dについても点Aと同様にイ～エの操作を繰り返す。	
		絵	削除	サイや鶏などの絵は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	142	8	削除追加	写真は削除し、次の文を追加した。 「図〇〇はこの立体の展開図です。福井県の若狭うるしダルマはこのような形をしています。」	編集方針(8)①に基づく。
	144～168	図	削除	偶数ページ左上の図は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	144	図写真	削除	立方体の図と5種類のサイコロの写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		17～20	修正	本文を次のように修正した。 「正多面体には、正四面体(4枚の正三角形で囲まれた形)、正六面体(6枚の正方形で囲まれた形)、正八面体(8枚の正三角形で囲まれた形)、正十二面体(12枚の正五角形で囲まれた形)、正二十面体(20枚の正三角形で囲まれた形)の5種類がある。立方体は正六面体である。図〇〇はこれらの展開図であり、図〇〇はこれらの立体を2つの方向または1つの方向から見た図である。」	編集方針(8)①に基づく。
	145	図	削除	5つの正多面体の見取り図は削除し、代わりに巻末に切り取り可能なそれらの展開図をつけた。	編集方針(8)①に基づく。
		図	削除	六面体の図は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	146	絵	削除追加	魚津埋没林博物館の絵は削除し、角柱の説明文の終わりに次の文を追加した。 「富山県にある魚津埋没林博物館の建物は、三角柱の底面を横に配置したような形をしています。」	編集方針(8)①に基づく。
	147	図	修正追加	四角錐の見取り図は展開図にし、本文の終わりに次の文を追加した。 「図〇〇は四角錐の展開図である。」	編集方針(8)①に基づく。
		図写真	修正追加	円錐の見取り図は展開図にし、本文の終わりに次の文を追加し、海のピラミッドの説明も加えた。 「図〇〇は円錐の展開図である。熊本県にある海のピラミッドという建物はこのような形をしています。」	編集方針(8)①に基づく。
		図	修正	問4の図は正四角錐の1つを「上から見た図」、「前から見た図」で示し、問題文も一部修正した。	編集方針(8)①に基づく。
	148	写真	削除	正八面体の模型の写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
1年	148	14	追加	直線 <i>l</i> を含む平面の図は、教科書を実際に折り曲げて使う図とし、次の補足説明文を(注)として追加した。 (注) 図〇〇の直線 <i>l</i> を折り目として、実際にページを折ってみましょう。折り方によって、直線 <i>l</i> を含む平面Q, 平面Rができることを考えてみましょう。	編集方針(8)①に基づく。
		17	修正	問1の写真は削除し、ヒントさんとして次のように表現した。 ヒントさん 「下敷きなどの平らな板は、3本の指で支えられるかな。2本ではどうかな。」	編集方針(5), (8)①に基づく。
	149	1~2	修正	「2平面の平行」の図と「直線と平面の平行」の図は省略し、本文を次のように修正した。 「机の面と床の面のように空間内の交わらない2つの平面を平行な平面という。また、机の上に引いた直線と床の面のように直線と平面が出あわないとき、その直線と平面は平行であるという。」	編集方針(8)①に基づく。
		12 写真	削除 追加	「空間における直線の平行」の説明の図は、「断面図」で示したが、「ねじれの位置」についてもこの図を使って、次のような説明を追加した。 「図〇〇で、平面Q上に直線 <i>m</i> と交わる直線 <i>n</i> を引くと、この直線 <i>n</i> と直線 <i>l</i> は、ねじれの位置にある。」 また、ねじれの位置を示した写真を削除して、ヒントさんによる説明を追加した。 ヒントさん「身の回りにも、ねじれの位置の関係になっているものがあるね。栃木県の学校にある2つの渡り廊下は、横から見ると交差しているように見えるけど、上から見ると離れているため、2つの渡り廊下を歩く人たちは、実際にはぶつかることなく歩かことができます。他にも、道路と立体交差した鉄道の線路もねじれの位置の関係になっています。」	編集方針(5), (8)①に基づく。
	150	図	修正	本を開いたときの見取り図は削除し、三角定規に平行な面で切った断面図を示した。	編集方針(8)①に基づく。
		図	修正	長方形ABCDを直線 <i>l</i> のまわりに回転させた図は、教科書を実際に折り曲げて使う図とした。	編集方針(8)①に基づく。
		図	修正	2平面P, Qのつくる角が直角の図は、平面P, Qに垂直に切った断面図で示した。	編集方針(8)①に基づく。
	151	図	削除	針金が回転している図は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		図	修正	問4の図は削除し、代わりに三角定規の図を示し、ヒントさんとして次のように表現した。 ヒントさん「図〇〇のような三角定規を用意し、辺BCを机に置き、辺ACに細い棒 <i>l</i> をつけて考えてみよう。」	編集方針(5), (8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
1年	151	図	削除	直線 <i>l</i> が平面 <i>P</i> に垂直になっている図は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	153	写真	修正	百人一首と10円玉を積み重ねた写真は削除し、代わりに本文に次のような文を追加した。 「図○○は、百人一首と10円玉を垂直方向に積み上げた形を表しており、それぞれ、四角柱と円柱の形になっている。」	編集方針(8)①に基づく。
		図	修正	底面が動いた図は、長方形、円と2つに分けず、1つの図で表した。	
	154	図	削除	長方形 <i>ABCD</i> や直角三角形 <i>ABC</i> が回転している図は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		写真	削除 修正	ハムを切る写真は削除し、問題文の終わりに次の文を追加した。 ヒントさん「まな板にのっている円柱の形をしたハムの切りかたを考えてみよう。」	
	155	図 写真	削除	球の見取り図とつぼの写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		15	修正	「見取り図をかきなさい。」を「上から見た図と前から見た図をかきなさい。」に変更した。	
	156	写真	削除 追加	お菓子の箱の写真は削除し、ヒントさんとして次のように表現した。 ヒントさん「たとえば、正六角柱の形をしたお菓子の箱を切って開くとどんな形になるかな。」	編集方針(5),(8)①に基づく。
		図	修正	三角柱からその展開図に変わっていく図は、展開図のみ示した。(P.156の円柱、P.158の円錐についても同様に修正した。)	
	158	図	修正	底面が正多角形の角錐の図は、正十六角形の角錐で表した。	編集方針(8)①に基づく。
	160	12	修正	ページ中央の円周と円の面積を求める公式は、おうぎ形の面積を求める公式の後に、ヒントさんとして次のように表した。 ヒントさん「上の二つの公式は、(円周) = $2\pi r$ 、(円の面積) = πr^2 の式がもとになっているんだね。」	編集方針(5),(8)①に基づく。
	161	11	修正	「見取り図をかきなさい。」を「上から見た図と前から見た図をかきなさい。」に変更した。	編集方針(8)①に基づく。
	164	図	削除	底面を垂直方向に積み上げている図は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
165	2	修正	写真は削除し、Qの文章を次のように変更した。 「図○○の立方体で、次のように対角線をひくと、1点 <i>O</i> で交わります。AとG、BとH、CとE、DとF。このとき、この立方体は、図○○のような <i>O</i> を頂点とし、立方体の各面を底面とする正四角錐が6個集まったものと見ることができます。このことから、底	編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
1年	165			面の1辺が10 cm, 高さが5 cmの正四角錐の体積を求めてみましょう。」	
		15	修正	写真は削除し, ヒントさんの吹き出しを次のように一部修正した。 ヒントさん「円錐の形をした容器に入れた水を, 底面積と高さが円錐と等しいような円柱の形をした容器に入れたら, $1/3$ まで入ったね。」	編集方針(5), (8)①に基づく。
	168	21	修正	「見取り図をかきなさい。」を「上から見た図と前から見た図をかきなさい。」に変更した。	編集方針(8)①に基づく。
	169	11	修正	図を2つに分けて示した。 「赤い線」という言葉は図番号に代えた。	編集方針(8)①に基づく。
			写真	削除	模型の写真は削除した。
	170	絵	削除	Qの挿絵を削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		図	修正	投影図の仕組みを説明した図は, 上からと右からの2方向から光を当てて投影している図に修正した。	編集方針(8)①に基づく。
	171~	図	修正	立方体の切断で, 切り口を示す場合については, 切り口の形がよく分かるように, 立方体の1つの対角線の位置関係にある2点B, Hが重なる方向から見た図で示した。	編集方針(8)オに基づく。
	171	図	修正	問4の切断した立方体の投影図と見取り図の一部は削除して, もとの立方体と実際に切断した立方体の上から見た図と前から見た図を示し, 次のようにその切り方を説明する間に変更した。 図○○の立方体のある平面で切ったら, 図○○のようになりました。どのように切ったのか説明しなさい。	編集方針(8)オに基づく。
	174	絵	削除追加	2人が会話している挿絵は削除して, 代わりに, Qの本文のあとに, 次のように文章を追加した。 かずおとまなぶが待ち合わせの時間について話しています。 かずお「今10時だから5時間後の3時に待ち合わせよう。」 まなぶ「わかったよ。」	編集方針(8)①に基づく。
	178	絵	削除	Qの挿絵を削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	181	13	修正	問4の本文の後に次のヒントさんを追加した。 ヒントさん「図○○を使って考えよう。」	編集方針(5)に基づく。
	184~ 185	絵	削除	3つの挿絵を削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	186	2	削除	円周という意味のギリシャ語を削除した。	編集方針(8)①に基づく。
186	図	修正	図は, 正六角形の場合と正十二角形の場合を示した。	編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
1年	190	図	修正	立方体の中に2枚の長方形の組を示した3つの図は削除し、ヒントさんとして次のように表現した。 ヒントさん「5でつくった2枚の長方形の組は、立方体の上の面と下の面で垂直に交差していたけれど、他にはどんな面で考えられるかな。」	編集方針(5),(8)①に基づく。
	191	絵	削除	ページが一番下の絵は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	192	写真	削除 修正	階段の写真は削除し、本文を次のように修正した。 「東京都のある施設の階段には、斜めにスロープがついています。」	編集方針(8)①に基づく。
	193	写真	削除 修正	写真は削除し、次のように修正した。 「図〇〇は、3段ある階段に斜めにスロープをつけた模型を真上から見たときの図です。」 また、図の踏面に番号をつけ、注として、「1」、「2」、「3」は下からの段数と説明した。	編集方針(8)①に基づく。
	巻末		削除 追加	「和算のひろば」の4つの写真はすべて削除し、その内容を文章化して巻末の自由研究の終わりに挿入した。 参考資料2 参照	編集方針(8)①に基づく。
	裏見返し	図	削除 修正	正六面体の作り方は削除して、正四面体の作り方を説明と図の両方で表し、6章の終わりに次のように挿入した。 折り紙で正六面体と正四面体を作ってみよう。 (注)正六面体の作り方は省略し、正四面体の作り方のみ示す。ケの操作で、元に戻した後、線分HIで長方形AHIBを切り落としてもよい。 正四面体の作り方(図〇-〇〇 ア~サ) ア 折り紙を正方形ABCDとする。辺ABと辺DCが重なるように半分に折り元に戻す。この折り目をEFとする。 イ 点Cが線分EF上にくるように、点Bの位置で紙を折る。このとき、点Cが移った点をC'、折り目がついて辺CD上にできた点をGとする。 ウ 点C'を通り、辺BCと平行になるように正方形の上部を折る。このときできた辺AB、辺CD上の点をそれぞれ点H、点Iとする。 エ 点Cを元の位置に戻す。 オ 点Bが点C'の位置に来るように、点Cの位置で折り、点Bを元の位置に戻す。 カ 線分HBが線分BG上にくるように、点Bの位置で折り、元の位置に戻す。同様に線分ICも線分CJ上にくるように点Cの位置で折り、元の位置に戻す。	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
	裏見返し			<p>キ 線分CC' と線分BGの交点をKとし、点Bが点Kと重なるように点Hの位置で折り、元に戻す。同様に、線分BC' と線分CJの交点をLとし、点Cが点Lと重なるように点Iの位置で折り、元に戻す。</p> <p>ク 長方形HBCIで辺BCが辺HIに重なるように中央で折り、元に戻す。</p> <p>ケ ウで折った線を元に戻す。このとき、辺AB上の点Aに近い点をM、Bに近い点をNとする。</p> <p>コ 線分HMとIN、また、線分BLとCKで、もともとついている折り目とは逆になるように折り直す。</p> <p>サ 線分BCの中点をOとし、線分BOと線分COを合わせながら、点B、点Cが点C'の位置にくるように折る。</p> <p>シ 点Oが正四面体の4つの頂点のうち、一番高い位置にくる頂点として、点Hと点Iが点Oの位置にくるように、正四面体の形を作っていく。正四面体の形を作るのに不要な部分である長方形AHIBは、OC'の線の中に折り込むことができる。</p>	
2年	見返し	写真	修正 移動	写真を削除し、ダイアグラムのみを簡略化し、「ゆいレールのダイアグラム」として、3章末に挿入した。	編集方針(8)①に基づく。
	4~5	絵	修正	2人のキャラクターを、「けい子さん」、「まなぶさん」とし、文章化した。	編集方針(5)に基づく。
	5	1	修正	表部分を、次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ヒントさん「表〇〇」を参考に計算してみましょう。 表〇〇 ① □ ② 8 ③ □ (①+②) ④ □ (③÷2) ⑤ □ (④-②) ⑥ □ (⑤×2) ⑦ □ (③-⑥) </div>	編集方針(8)①に基づく。
	7	13	修正	ノートの部分を削除し、次のように文章化した。 $x^3 + 4x^2 + (-5x)$ の場合、 x^3 の次数は3、 $4x^2$ の次数は2、 $-5x$ の次数は1だから、 $x^3 + 4x^2 + (-5x)$ の次数は3	編集方針(8)①に基づく。
	10	12	修正	ノートの部分を削除し、本文の式変形の途中に約分した後の式を挿入した。また、式変形の後に次の説明を追加した。 ヒントさん「約分して分母が1になった式は書かなくてもいいね。」	編集方針(5)(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考						
2年	13	6	修正	式変形の途中に、約分した後の式を挿入した。	編集方針(8)①に基づく。						
		7	修正	式変形の途中に、約分した後の式を挿入した。	編集方針(8)①に基づく。						
	14	2	修正	式変形の途中に、約分した後の式を挿入した。	編集方針(8)①に基づく。						
		16	修正	メモを削除し、「Qの②では、」の後に、メモの内容を以下のように挿入した。 $a^5 \div a^2$ $= \frac{a \times a \times a \times a \times a}{a \times a}$ $= \frac{1 \times 1 \times a \times a \times a}{1 \times 1}$ $= a^3$ であるから、商 a^3 の指数3は、 $5 - 2$ で求めることができる。	編集方針(8)①に基づく。						
		17	修正	17行目の後に次の説明を追加した。 ヒントさん「分子ではaが3個かけられているから a^3 になるね。」	編集方針(5)に基づく。						
	17	3	修正	色網掛け部分の式は、ヒントさんのコメントを加えてQの後に挿入した。 ヒントさん「こんな例はどうか。」	編集方針(5)(8)①に基づく。						
	21	3	修正	問題文の後に次の説明を追加した。 (図○○および図○○も参考にしなさい。)	編集方針(8)①に基づく。						
	33	15	修正	天秤の皿にのせるものは、次のように文章化した。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>みかん10個</td> <td>バナナ1ふさと柿3個</td> </tr> <tr> <td>みかん6個とかき1個</td> <td>バナナ1ふさ</td> </tr> <tr> <td>バナナ1ふさ</td> <td>みかんが何個?</td> </tr> </table>	みかん10個	バナナ1ふさと柿3個	みかん6個とかき1個	バナナ1ふさ	バナナ1ふさ	みかんが何個?	編集方針(8)①に基づく。
	みかん10個	バナナ1ふさと柿3個									
	みかん6個とかき1個	バナナ1ふさ									
	バナナ1ふさ	みかんが何個?									
	37	写真	削除	写真を削除し、「考え方」のあとに、次の文を挿入した。 山梨県立美術館の入館料は、この問題と同じです。	編集方針(8)①に基づく。						
42	17	修正	写真は削除し、ヒントさんのコメントを加え問題文の後に挿入した。 ヒントさん「50円切手と80円切手、いちごケーキとチョコレートケーキ。」	編集方針(5)(8)①に基づく。							
43	1	修正	3人のキャラクターを、「けい子さん」、「まなぶさん」、「かず子さん」とし、文章化した。	編集方針(5)(8)①に基づく。							
46~47	図11	修正	図を簡略化した。表は単位を省略した1つの表のみを示した。	編集方針(8)①に基づく。							
58	6	修正	表・式・グラフの関係を次のように文章化した。 $y = 2x + 3$ の2は、変化の割合であり、これは表3-○○のようにxが1だけ増加したときのyの増加	編集方針(8)①に基づく。							

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
2年	58			量である。また、これは図3-〇〇のようにグラフの傾きである。 $y = 2x + 3$ の3は、 $x = 0$ のときの y の値であり(表3-〇〇)、これはグラフの切片で、グラフと y 軸の交点の y 座標である(図3-〇〇)	
	59	6	修正	2点間の矢印は、横4、縦2の長さのもののみ残し他は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	60	14	修正	①と②、③と④の2つのグラフに分けた。	編集方針(8)①に基づく。
	61	6	修正	赤い太線は2重線とし、本文中の「赤い線」を「2重線」と修正した。	編集方針(8)①に基づく。
	71	写真	差し替え	写真を削除し、本文の文頭を次のように追加・修正した。 「ピーカーに水を入れ、下からガスバーナーで熱する実験で、……」	編集方針(8)①に基づく。
			8	修正	グラフの横の目盛りは、 5°C きざみとした。
	74	19	追加	本文末に、次の文を挿入した。 「点P、Qが往復する様子をグラフに表して考えよう。(図〇〇)」	編集方針(8)①に基づく。
	77	6	修正	絵を簡略化し、「Aの管からは」を「上のAの管からは」に、「Bの管からは」を「下のBの管からは」に修正した。	編集方針(8)①に基づく。
	79	3	修正	絵を削除し、7㉒ますと3㉒ますの略図を付加した。	編集方針(8)①に基づく。
	82~108	図	修正	偶数ページの左上の図は削除し、P85のやってみよう!の本文の後、次の説明と、いくつかの図を示した。 外角の和の求め方 図〇〇(1)のような五角形ABCDEの外角の和を求める別の方法について考えてみよう。〇〇ページ(2)~(7)に示したように、まずAの外角を辺にそって平行に移動してBの外角に加え、それを同様に移動してCの外角に加えるというように、順次各頂点における外角を加えていくとどうなるかという考え方である。 ヒントさん「最終的に外角の和は 360° となるかな?」	編集方針(8)①に基づく。
	84	2	修正	ジョギングコースの絵を、簡略化した図にした。	編集方針(8)①に基づく。
	86	絵	修正	シーソーの絵を、簡略化した図にした。	編集方針(8)①に基づく。
	88	写真	修正	三角定規の図のみとした。	編集方針(8)①に基づく。
	90	2	修正	図を簡略化し、「小学校」は「小学部」に、「右のように角を並べかえ」を「図〇〇のように三角形を切って各頂点を1点に集め」に修正した。	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
2年	94	図	修正	模様の図は、一部分のみとした。	編集方針（8）①に基づく。
		12	修正	写真は削除し、★印部分の文章を次のように修正した。 「(注) 図〇〇は日本の伝統模様のひとつで、麻の葉を図案化してできたため「麻の葉」とよばれている。」	編集方針（8）①に基づく。
	95	11	追加	以下のような注によって、一般の合同記号を紹介した。 (注) 墨字では、合同の記号 \equiv を \equiv と書く。	編集方針（8）①に基づく。
	96	絵	修正	さし絵を削除し、次のように修正した。 弟「2辺が5 cmと6 cmで、1つの角が50°の三角形をかく宿題が出たんだ。」 姉「いろんな三角形ができそうだけど・・・。」	編集方針（8）①に基づく。
	102	8	追加	平行線を示す記号について以下の文を追記した。 図における平行線の記号 2つの直線が平行であることを、その2直線に矢印を記すことによって表現する。	編集方針（8）①に基づく。
			図	修正	原図では、仮定と結論が一つの図で示されているが、触覚による観察を考慮して仮定を表す図と結論を表す図の二つに分けて示した。
		14	修正	根拠の事柄の示し方を簡潔にした。囲み枠と、枠中の文言「根拠となることがら」を削除し、・・・の後に直接根拠となる事柄を記した。 証明の本文の前に次の文を挿入することにより、根拠となる事柄の示し方を明らかにした。 (注)・・・の後ろは「根拠となることがら」である	編集方針（8）①に基づく。
	104	5	修正	図中の矢印を削除するとともに、仮定と結論を明確化し、図を修正した。	編集方針（8）①に基づく。
	106	15	修正	問題2の②の文を、次のように修正した。 「次の□にあてはまる三角形をいいなさい。」	編集方針（8）①に基づく。
	110	図	追加修正	図についての説明を追加し、図もこれに対応するように修正した。 直角を作る方法 1. ひもABを真ん中の点Oで分けて、(1)のように置く。 2. ひもの右半分OBを(2)のように開く。 3. ひもの左半分OAを(3)のように、Bと反対側に移動する。 4. (4)のように4点O、A、B、Cが決まり、Aの位置に直角ができた。	編集方針（8）①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
2年	113	図	追加修正	二等辺三角形の紙を折る図について、折る前と折った後の図を示した。	編集方針(8)①に基づく。
		9	修正	考え方「 $AB=AC$ である $\triangle ABC$ を考え、 $\angle B=\angle C$ であることを導けばよい。」にかかわる図については、仮定を示した図(1)と、結論を示した図(2)に分けて示した。	編集方針(8)①に基づく。
		13	追加修正	「頂角 $\angle A$ の・・・」を説明する図に関して、仮定と結論の示し方を明確にするために次の一文を追加した。 「図の中には、仮定と結論の両方が記号化されて記載されている図がある。たとえば、図5-7などである。」このような図の図番号を結論が得られる条件設定の段階で入れるときは、結論を示した印を削除することとする。(図5-7, 図5-17)	編集方針(8)①に基づく。
	114	12	修正	脚注を「たしかめ1」(図5-10)の後に移動し、次のように修正して示した。「(注)図5-10 ①の三角形のように、頂角が直角である二等辺三角形を直角二等辺三角形という。」	編集方針(8)①に基づく。
	115	図	修正	二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を示した図(図5-11)については、仮定を示した図(1)と結論を示した図(2)に分けて表した。	編集方針(8)①に基づく。
		図	修正	図5-12を仮定を示した図(1)と、結論を示した図(2)に分けて表した。	編集方針(8)①に基づく。
	116	図	修正	図5-14を仮定を示した図(1)と、結論を示した図(2)に分けて表した。	編集方針(8)①に基づく。
	117	図	修正	「Q」の紙テープを折った図について、元の形の右端の辺も示した。	編集方針(8)①に基づく。
		図		問1の図について、仮定を示した図(1)と、結論を示した図(2)に分けてあらわした。	編集方針(8)①に基づく。
	118	図	修正	「証明」の図について、仮定が明確になるように結論を示す印は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	119			網掛け部分は、網掛けをとり、「」でくくった。	編集方針(8)①に基づく。
		19	追加	19行目の後に、次の文を入れた。 ヒントさん「正しくないときは、具体例をあげてみよう。」	編集方針(8)①に基づく。
	121	1	修正	図中の裏返しを示す矢印を削除し、説明の文章を次のように修正した。 「 $AC=DF$ であるから、 <u>図5-24(1)～(3)</u> のように、 $\triangle DEF$ を裏返して、・・・」	編集方針(8)①に基づく。
		9	削除修正	キャラクターの絵を削除して次の文を入れた。 ヒントさん「三角形の合同条件と比べてみよう。」	編集方針(8)①に基づく。
	124	図	修正	テープを重ねた図は、輪郭線で示し、重なった部分は裏点で埋めて表した。	編集方針(8)①に基づく。
4		修正	網掛け部分は網掛けをとり、「」でくくって示した。	編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
2年	124	10	修正	平行四辺形 ABCD を  ABCD と書くことがある。」の部分は、次のように修正して注記として示した。 「(注)墨字では、平行四辺形の記号  を  と書く。」	編集方針(8)①に基づく。
	125	4	修正	網掛け部分は網掛けをとり、「」でくくって示した。	編集方針(8)①に基づく。
		図	修正	「考え方」の図については、仮定を示した図(1)と、結論を示した図(2)に分けて表した。	編集方針(8)①に基づく。
	128	4	削除 修正	「遊園地の写真」を削除し、文章で以下のように表した。 「Q 茨城県にある日立かみねレジャーランドには、Flying Carpet という乗り物があります。この乗り物は、真横から見ると、図5-42 のような乗り物で、人が乗る面ADはいつも水平になるように動きます。いつも水平になるのはなぜでしょうか。人の乗る面ADが動いても変わらないは、どの部分でしょうか。」	
		図	修正	乗り物の動きを示した図は、2場面のみに簡略化して示した。	編集方針(8)①に基づく。
	129	図	修正	平行四辺形の AD//BC の結論を導く図について、仮定を示した図(1)と、結論を示した図(2)に分けて表した。	編集方針(8)①に基づく。
	130	図	修正	平行四辺形の性質2の逆を証明する考え方を示した図について、仮定を示した図(1)と、結論を示した図(2)に分けて表した。	編集方針(8)①に基づく。
	132	写真	削除	写真を削除し、簡略化した図を示した。さらに17行目に、次の文章を入れた。 「石川県金沢駅前には、図5-52 のような何本かの支柱からなる高さ約 20m、幅約 40m の巨大なモニュメントがある。」	編集方針(8)①に基づく。
	134	図	修正	「発展」の図は原図の横の流れを縦の流れに変更して表した。	編集方針(8)①に基づく。
	135	13	追加	脚注を13行目後に移動し、注記として次のように示した。 「(注)△ABCのように、図形を表す記号で図形の面積を表すこともある。」	編集方針(8)①に基づく。
	138	図	修正	教科書と三角定規の図は、簡略化して示した。	編集方針(8)①に基づく。
		図	削除 修正	キャラクターの絵を削除して次の文を入れた。 ヒントさん「Pはどんな図形の上を動くのかな？」	編集方針(5),(8)①に基づく。
139	図 3	修正 削除	「問3」の図は、簡略化して輪郭線のみで示した。	編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
2年	140	図		<p>キャラクターの絵と図を削除し、次のように文章で表した。</p> <p>ヒントさん「図5－78のような道具を作って調べてみよう。」</p> <p>「3本の長さの等しいテープを端点Oでとめた道具を作り、もう一方の端点をそれぞれA、P、Bとして、AとP、BとPを結んで四角形OAPBを作り、$\angle a + \angle b$の大きさについて考える。」</p>	編集方針(5)、(8)①に基づく。
	141	2	削除修正	<p>キャラクターの絵を削除して次の文を入れた。</p> <p>ヒントさん「四角形PAOBの内角の和は・・・。」</p>	編集方針(5)、(8)①に基づく。
	144	9 写真 図	修正	<p>「数学のまど」の写真を削除し、簡略化して図示した。また、文章を以下のように修正した。</p> <p>「・・・と思います。</p> <p>いま、図5－89の位置なら舞台全体がぴったり入りますが、図5－88の裏点で埋めた場所にはいすが置かれるため、設置できません。ビデオカメラのズームは、<u>変えないで</u>、舞台全体がぴったり入るようになるには、ビデオカメラをどの場所に設置すればよいでしょうか。」</p>	編集方針(8)①に基づく。
	151	図	削除	コックさんの絵は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		5	修正	<p>挿絵の吹き出しを次のように文章にして挿入した。</p> <p>ヒントさん「上の四角形をどのように切っているのかな？」</p> <p>巻末の図を切り取って使いましょう。</p>	編集方針(5)、(8)①に基づく。
	152	3	修正	文中のカードの絵は、点字では表現が困難ため、独立した図として示した。	編集方針(8)①に基づく。
		9	削除修正	<p>キャラクターの絵を削除し、次のように文章で表した。</p> <p>ヒントさん「どの数字がもっともやすいかな。」</p>	編集方針(5)、(8)①に基づく。
	152～ 154	写真	削除	カードゲームの様子の写真はすべて削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	153	19	修正	<p>文中のハートの印やカードの絵は、文章化して次のように表した。</p> <p>「<u>ハートのカードをひく</u>」</p> <p>「<u>2回とも3のカードをひく</u>」</p> <p>「<u>2のカードと3のカードを1回ずつひく</u>」</p>	編集方針(8)①に基づく。
	154	表	修正	さいころの目の写真は、簡略化して図で示した。	編集方針(8)①に基づく。
		17	修正	問1の表の表記を次のように修正し、問の文章も改めた。	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
2年	154			投げた回数→回数, 1の目の出た回数→1の目, 1の目の出る割合→割合 空欄→  「問1 表6-2で, ……まで求め,  を うめなさい。」	
	155	写真	削除 修正	10円硬貨の写真は削除し, 次の文を入れた。 ヒントさん「10円硬貨は, 平等院の絵柄の面が表, 大きな10の絵柄の面が裏だよ。」	編集方針(5), (8) ①に基づく。
	156	4	削除 修正	挿絵を削除し, 次の文を入れた。 けいこさん「子どもは, 男か女のどちらかだから, 女の子の生まれる確率は1/2だと思う。」	編集方針(8) ①に基づく。
		写真	削除 修正	写真を削除し, 「……100年間のシーサイドもも ちのある福岡市の……」と文章中に写真の内容を表 記した。	編集方針(8) ①に基づ く。
	157	写真	削除	サッカーの写真を削除した。	編集方針(8) ①に基づ く。
	159	9	追加	キャラクターの絵を削除し, 次のように文章で表し した。 ヒントさん「(イ)の袋から青玉を取り出す確率は1 だね。」	編集方針(5), (8) ①に基づく。
			写真 修正	文中のトランプのマークは, 言葉で示した。 「問1 次の文の  にトランプのマーク(ハート・ ダイヤ・クラブ・スペード)のどれかを入れ, ……」 」	編集方針(8) ①に基づ く。
		写真	削除	パスカルの写真は削除した。	編集方針(8) ①に基づ く。
	160	4	修正	100円硬貨の写真を削除し, 次の文を入れた。 ヒントさん「100円硬貨は, さくらの絵柄の面が表, 大きな100の絵柄の面が裏だよ。」	編集方針(5), (8) ①に基づく。
	161	7	修正 追加	樹形図の説明を以下のように加えた。 「このような図は, 枝分かれしていくケヤキなどの 樹木の形と似ていることから 樹形図 という。」	編集方針(8) ①に基づ く。
	162	写真	削除	写真を削除した。	編集方針(8) ①に基づ く。
163	絵	削除 修正	絵は削除し, 次の会話を入れた。 けいこさん「先にひくほうがあたりやすいと思う わ。」 まなぶくん「昔から「残り物には福がある」という よ。」	編集方針(8) ①に基づ く。	
	19	修正	キャラクターの絵を削除し, 文章で表した。 ヒントさん「例1でくじを3人で引くときはどうな るかな？」	編集方針(5), (8) ①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
2年	164		修正	組み合わせを表した図で、場合が重複するときの線は、点線で表した。	編集方針(8)①に基づく。
		写真	削除	写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	165	絵	修正	挿絵の王冠は、横から見た図で表した。	編集方針(8)①に基づく。
	166	絵	削除	テニスの様子を表した絵は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		絵	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「十の位と一の位の数の和が3の倍数ならば、その数は3の倍数だね。」	編集方針(5),(8)①に基づく。
	167	7	修正	2および3の問題の本文中のカードの絵は、「○のカード」という表現に修正した。	編集方針(8)①に基づく。
		写真	削除	画鋸、さいころの写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	168	絵	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「あたりくじは、どんな割合で入っているのかな？」	編集方針(5),(8)①に基づく。
		絵	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん『少なくとも1枚は裏』とは、『3枚とも表』とならない場合だね。」	編集方針(5)に基づく。
	169	写真	削除	写真はすべて削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	170	13	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「和は、3と1になっているね。」	編集方針(5)に基づく。
	172	25	修正	メモの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「(わられる数)=(わる数)×(商)+(余り)」	編集方針(5)に基づく。
	173	19	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「いろいろな問題をつくってみよう。」	編集方針(5)に基づく。
	174	5	修正	脚注を5行目の後に挿入した。	編集方針(8)①に基づく。
	175	絵		例1の挿絵は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	177	7	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「3個の玉を取り出すと、袋の中には1個残るね。」	編集方針(5)に基づく。
		写真	削除	問8のリレーの写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
2年	177	21	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「おつりがある場合も考えると、何通りかな？」	編集方針（8）①に基づく。
	178	写真	削除 修正	写真を削除し、本文中に以下の文書を挿入した。 「表は、 <u>岩木山が見える弘前公園のある弘前市に・</u> ・・・」	編集方針（8）①に基づく。
		表	修正	問1は「・・・・座標とする1983, 1984, 1985に該当する点を、次ページの図にかきなさい。（後半の年に該当する点は入れてあります。）」とし、他の年の点は図中にプロットした。	編集方針（8）①に基づく。
	179	15	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「5月6日は4月？日」	編集方針（5）に基づく。
		2		キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「実際の開花日と比べてみよう。」	編集方針（5）に基づく。
	180	写真	削除	電卓の写真は削除した。	編集方針（8）①に基づく。
		写真	削除	花粉の飛散の様子を表した写真は削除した。	編集方針（8）①に基づく。
		グラフ	修正	グラフ中の年号を1981から5年おきとした。	編集方針（8）①に基づく。
	181	10 図	修正	Qの本文の後に、脚注を以下のように修正して移動した。 (注)花粉の数とは、1cm ² の面積で、1シーズンに観測された花粉の個数を表している。 全日射量とは、太陽からのエネルギーを熱量に換算したもので、単位はMJ/m ² である。	編集方針（8）①に基づく。
		写真	削除	すべて写真を削除した。	編集方針（8）①に基づく。
	185	12	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「立ち上がるタイミングのきまりを決めておこう。」	編集方針（5）に基づく。
		12	修正	キャラクターの絵を削除し、文章で表した。 ヒントさん「グラフは、原点と(11,60)を通るね。」	編集方針（5）に基づく。
	186	絵	修正	トイレットペーパーの図は正面、および横から見た図に修正し、それぞれの部分の長さを記した。	編集方針（8）①に基づく。
		絵	修正	トイレットペーパーを切り開いた図は、正面から見た図にして示した。	編集方針（8）①に基づく。
188	写真	削除 修正	箱根寄せ木細工の写真は削除し、次のように文章化した。 「神奈川県箱根では、麻の葉模様がほどこされた寄せ木細工の箱などが作られています。」	編集方針（8）①に基づく。	

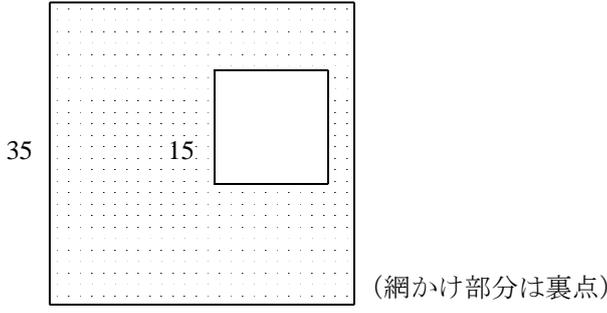
学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
2年	190	1	削除 修正	<p>「点字を読んでみよう」については、次のように注などを挿入し、課題の意図が分かるようにした。点字の一覧表は、省略した。</p> <p>(注) これは、点字を知らない墨字を使用する人に点字のしくみを考えてもらう課題です。 財団法人「愛の小鳩事業団」が作っている「愛の小鳩カレンダー」の表紙には、次のメッセージが点字で打ってあります。 アタラシイ トシノ アナタニ</p> <p style="text-align: center;">ココロヲ コメテ オクリマス</p> <p>(注) 墨字の印刷で点字を示すとき、メの字のように6つの丸をならべ、出っばっているところだけを塗りつぶして表すことがあります。</p>	編集方針(8)①に基づく。
		191	表	追加	<p>点字の五十音表に、以下の注を追加した。</p> <p>(注) 「ヤ ユ ヨ ワ ン」だけが示されている点字の五十音表があるものとして考えてみましょう。</p>
		6	修正	<p>6の問題を以下のように修正した。</p> <p>「身のまわりに使われている点字を、紙をあてて、鉛筆でこすって写しとり、それを読んでみよう。」</p>	編集方針(8)①に基づく。
	192	写真	削除	はかり資料館の写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	193	2	削除	さいころの写真を削除し、「右の写真は、・・・」を「正二十面体のさいころは、・・・」と修正した。	編集方針(8)①に基づく。
			削除 修正	<p>1のキャラクターの絵を削除し、問の最後に文章で表した。</p> <p>ヒントさん「小さいほうの目が0のときは、1けたの数としよう。」</p>	編集方針(5)に基づく。
				<p>2のキャラクターの絵を削除し、文章で表した。</p> <p>ヒントさん「どんな値に近づくのかな？」</p>	編集方針(5)に基づく。
表紙裏	写真	削除 修正	<p>「和算のひろば」 写真を削除し、「括要算法」の説明文に次の文章を追加した。</p> <p>「・・・ものです。円周率を求める部分では、円周の長さを内接する正多角形の周で近似する過程を示す図がえがかれています。」</p> <p>「図形の関連」 次のように修正した。</p> <p>「2年生で学んだ図形の関連についてまとめてみましょう。学んだ図形の性質などは大きく次の5つのグループに分けられます。」</p>	編集方針(8)①に基づく。	
				編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考	
2年	表紙裏			<p>A 平行線と角 B 合同 C 二等辺三角形 D 平行四辺形 E 円</p> <p>各グループの中の□にあてはまることばや記号を入れてみよう。</p> <p>(注)各グループ内の項目には、関連する順に A 1 A 2・・・のように番号を付けました。また、性質は s 1 s 2・・・, 条件は j 1 j 2・・・と表示してあります。なお、5つのグループの関連については図フ-1に示してあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図フ-1を次のようにする。 <p>5つのグループの相互関連</p> <pre> graph TD A[A] --> C[C] B[B] <--> 相互に関連 C B --> D[D] C --> E[E] </pre>		
3年	見返し	1	追加	文章は、枠で囲んで示した。	編集方針(8)①に基づく。	
		4	修正	本文を「図1-2のような方眼に、次の面積の正方形をかいてみましょう。」に変更した。 ②の前にヒントさんとして「点Aをとって正方形ABCDをかいてみよう。」を追加した。	編集方針(8)①に基づく。	
		5	図追加	方眼の上から2, 左から2の店をAとし大きな点にした。	編集方針(8)①に基づく。	
		6	20	追加	以下のように注を追加した。 (注) 墨字では、 $\sqrt{\begin{array}{ c c c } \hline \cdot & \cdot & \cdot \\ \hline \end{array}}$ のように $\sqrt{\quad}$ のなかに数や文字を書く。	編集方針(8)①に基づく。
		7	3	追加	以下のように注を追加した。 (注) 墨字では、記号 $\begin{array}{ c c c } \hline \cdot & \cdot & \cdot \\ \hline \end{array}$ は、プラス記号+の下にマイナス記号-を書いて、一つの記号として±とかく。	編集方針(8)①に基づく。
		8	図		平方根の大小を理解させるための図は、2つの正方形の図に分けて示した。	編集方針(8)①に基づく。
		9	14	追加	「 $\sqrt{2}$, $\sqrt{3}$, $\sqrt{4}$, $\sqrt{5}$, $\sqrt{6}$ の値を電卓を用いて求めると次のようになる。」	編集方針8(ア)に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	25	表	修正	表については、「1から100までの数を表のように書きます。」という説明を挿入して、表を示した。 表中の数の数符は省略した。 本文中「○印をつけて」を省略し、「残った数が素数である。」など表現を変えた。	編集方針(8)①に基づく。
		写真	削除	エラトステネスの顔の挿絵を削除した。	編集方針8(ア)に基づく。
	26	表	修正	数のまとめの表について、枝分かれの「{」を直線で表した。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="margin-right: 10px;">数</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">{</div> <div style="margin-right: 5px;">有理数</div> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 5px;">整数</div> <div style="margin-right: 5px;">{</div> <div style="margin-right: 5px;">正の整数</div> <div style="margin-right: 5px;">0</div> <div style="margin-right: 5px;">負の整数</div> </div> </div> <div style="margin-left: 10px;">}</div>	

}

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	32			$= a(c+d) + b(c+d)$ 分配法則を使ってかっこをはずす。 $= ac + ad + bc + bd$	
	38	9	修正	式が1行で書き表せず、図式的に示すことが困難であるため、公式との対応関係を次のように表した。 ヒントさん「乗法公式 $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ で x が $2x$ 、 a が 1 、 b が 3 のときだね。 $2x = A$ とおくとわかりやすいね。」	編集方針(8)①に基づく。
		14	修正	式が1行で書き表せず、図式的に示すことが困難であるため、公式との対応関係を次のように表した。 ヒントさん「乗法公式 $(x-a)^2 = x^2 - 2a + a^2$ で x が $2x$ 、 a が $3y$ のときだね。」	編集方針(5)、(8)①に基づく。
	40	5	修正	式が1行で書き表せず、図式的に示すことが困難であるため、公式との対応関係を次のように表した。 ヒントさん「乗法公式 $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ で x が $\sqrt{2}$ 、 a が 1 、 b が 3 のときだね。」	編集方針(8)①に基づく。
	42	5	修正	キャラクターの吹き出しを以下のように修正して表した。 ヒントさん「255 ページの長方形と正方形を切り取って、並べてみよう。図2-9のように、大きい正方形を左上において、その右側や下側にほかのものを並べてみよう。」	編集方針(5)に基づく。
	44	13	追加	例1の説明のあとに以下の文を付け加えた。 糸口「例1にならって表2-2をうめてみよう。」	編集方針(8)①に基づく。
	45	1	追加	例2の説明のあとに以下の文を付け加えた。 糸口「例2にならって表2-4をうめてみよう。」	編集方針(8)①に基づく。
	46	図	修正	キャラクターの吹き出しを以下のように修正して示した。 ヒントさん「36はいくつを2乗した数が考えよう。」	編集方針(5)に基づく。
	47	10	修正	網掛けの部分を以下のように修正して示した。 ヒントさん「公式4'を利用して因数分解したんだね。」	編集方針(5)、(8)①に基づく。
		16	修正	網掛けの部分を以下のように修正して示した。 ヒントさん「共通因数2をくくり出して、かっこの中を因数分解したんだね。」	編集方針(5)、(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	48	3	修正	<p>Qの設問を以下のように修正した。</p> <p>図2-10は、正方形を組み合わせてものです。 裏に出した点で埋めた部分の面積を求めてみましょう。</p> <p>図2-10 (注) 単位は [cm]</p>  <p>(網かけ部分は裏点)</p>	編集方針(8)①に基づく。
	49	メモ	修正	<p>メモの部分を次のように変更した</p> <p>・・・, 3, <u>4</u>, 5, ・・・ $3 \times \underline{4} \times 5 + \underline{4} = 4^3$</p>	編集方針(8)①に基づく。
		メモ	修正	<p>メモの部分の縦に伸びる点線を横書きにした。</p> <p> $3^2 - 1^2 = 9 - 1 = 8$ $5^2 - 3^2 = 25 - 9 = 16$ $7^2 - 5^2 = 49 - 25 = 24$ $9^2 - 7^2 = 81 - 49 = 32$ ・・・ </p>	編集方針(8)①に基づく。
	53	ノート	修正	<p>ノートに「例 36×34」を追加した。 例 36×34</p> $3 \times (3 + 1)$ $36 \times 34 = \underline{1224}$ 6×4	編集方針(8)①に基づく。
		15	修正	<p>①, ②の図の面は、裏点で表し、本文中の「白く示した部分の面積」を「裏に出した点で埋めた部分の面積・・・」と修正した。</p>	編集方針(8)①に基づく。
	55	4	修正	<p>「きまり」の始めに以下の文を追加した。 「図2-14のように縦横6個ずつ計36個の小さな正方形がある。そのうち12個の正方形の中には2から4までの数が書いてある。」</p>	導入の問題を挿入した。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	65	メモ	修正	<p>メモの部分は14行目へ移動した。</p> $x^2 + 5x = 3$ <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> $x \text{ の係数 } 5 \text{ の } \frac{1}{2} \rightarrow \frac{5}{2}$ </div> <p style="text-align: center;">↓</p> $\left(\frac{5}{2}\right)^2$ <p style="text-align: center;">↓ ↘</p> $x^2 + 5x \left(\frac{5}{2}\right)^2 + = 3 + \left(\frac{5}{2}\right)^2$ $\left(x + \frac{5}{2}\right)^2 = \frac{12}{4} + \frac{25}{4}$	編集方針(8)①に基づく。
	66	写真	修正	<p>写真は削除し、「関孝和の切手は1992年に発行されています。」の一文を追加した。</p>	編集方針(8)①に基づく。
	72	17	修正	<p>3人のキャラクターを、「まなぶさん」、「けいこさん」、「まことさん」とし、文章化した。</p> <p>まなぶさん「言葉の意味は…」</p> <p>けいこさん「式の形や解き方は…」</p> <p>まことさん「どんな文章題があったかな？」</p>	編集方針(5)に基づく。
	73	3	修正	<p>本文とメモの部分を見開きで対応を確認できる形にした。</p>	編集方針(8)①に基づく。
	74	メモ	修正	<p>メモの部分を削除し、本文中の式変形の途中に約分へ導く式を挿入し、式変形の後に次の説明を追加した。</p> $\frac{2(3 \pm \sqrt{7})}{2}$ <p>ヒントさん「分子を共通因数2をくくり出してから約分したんだね。また、xの係数が偶数の時は最後に約分できるんだね。」</p>	編集方針(8)①に基づく。
		1	修正	<p>メモを削除し、ヒントさんにまとめた。</p> <p>ヒントさん「分子は共通因数2をくくりだしてから約分したんだね。また、xの係数が偶数のときは最後に約分できるんだね。」</p>	編集方針(5),(8)①に基づく。
	75	5	修正	<p>ヒントさんを式の次の行に移動した。</p> <p>また、2つあるメモはひとつのメモにまとめてヒントさんの下へ移動した。</p>	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	75	14	追加	2次方程式の解の公式を示す際に、冒頭に「2次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の解は」の一文を追加した。	編集方針(6)に基づく。
	76	6	修正	ジェットコースターの挿絵は削除し、ヒントさんとして以下の文を挿入した。 ヒントさん「ジェットコースターに乗ると最初は一定の速さでのぼっていくね。そして、おるときはだんだん速くなっていくね。」	編集方針(5), (8)①に基づく。
	81	2	修正	問1の本文を以下のように修正した。 「表4-5のように、 x の値を-1から1までを0.1おきにとって、対応する y の値を求めなさい。」 表の-0.9~-0.6, -0.4~-0.2, 0.2~0.4, 0.6~0.9, の部分を省略した。	編集方針(8)①に基づく。
	86	図	修正	放物線はそれぞれ色分けされているが、各放物線に番号を振ることで対応した。	編集方針(8)①に基づく。
	87	写真	差し替え	噴水と花火の写真は削除し、「噴水から出る水や、打ち上げ花火の描く図形」の略図で示した。 パラボラアンテナの写真は削除し、軸に平行な光が焦点に集まる略図のみにした。 キャラクターの吹き出しも以下のように修正した。 ヒントさん「parabolaの意味を調べてみよう」	編集方針(8)①に基づく。
	88	20	追加	間違い探しをさせる文章を「 」で囲んだ。	編集方針(8)①に基づく。
	89	図	修正	問1の表における青で示された面は、  を用いて表した。	編集方針(8)①に基づく。
	93	3	差し替え	問5は、以下のような問に差し替えた。 次の(1)~(3)および図4-〇は、2つの関数の特長をまとめたものです。□にあてはまる言葉を答えなさい。 なお、図4-〇は、左に関数 $y = ax + b$ のグラフ、右に関数 $y = ax^2$ のグラフを示しています。 また、図中の「ゾー」は増加、「ゲン」は減少を示し、 x 軸の「 x 」と y 軸の「 y 」は省略してあります。 (1) グラフの形 (図4-〇(1)) $y = ax + b$ 直線 (a は傾き, b は□) $y = ax^2$ □ (2) y の値の変化 $a > 0$ のとき (図4-〇(2)) $y = ax + b$ 常に□ $y = ax^2$ $x = 0$ を境として減少から増加に変わる。 $a < 0$ のとき (図4-〇(3)) $y = ax + b$ 常に減少 $y = ax^2$ $x = 0$ を境として□に変わる。	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	93			(3) □ $y = ax + b$ 一定で常に等しい。 $y = ax^2$ 一定ではない。	
	94	6	修正	斜塔の挿絵を削除し、以下のように説明した。 ヒントさん「○○ページの数学のまどを見てみよう。」	編集方針(5),(8)①に基づく。
	97	図	差し替え	基本の問題1の円柱の見取り図は、前から見た図、上から見た図として表した。	編集方針(8)①に基づく。
	99	18	修正	2人のキャラクターを「かずこさん」と「まなぶさん」とし、文章化した。 かずこさん「xとyの値の変化のしかたは・・・。」 まなぶさん「式やグラフは・・・。」	編集方針(8)①に基づく。
	100	図	修正	写真を略図にし、次の説明を入れた。 「図○○は、東京湾岸の地図を簡単な図にしたものです。A地点からB地点は、東京湾横断道路 東京湾アクアラインで結ばれています。C地点の近くには横浜ベイブリッジがあります。図から実際の距離を求めてみましょう。」 *A, B, C間の長さは原典と同じにした。	編集方針(8)①に基づく。
	101	写真	修正	航空写真は削除した。雪の結晶の写真を点図にし、次の説明を入れた。 ヒントさん「図○○は、雪の結晶の顕微鏡写真から、結晶の形を拡大して図にしたものだよ。拡大すると結晶の形がよくわかるね。」	編集方針(5),(8)①に基づく。
	103	4	追加	相似の説明の文の後に次の注を追加した。 (注) 一般に、相似の記号 \sim をのと書く。	編集方針(7)に基づく。
		8	修正	問1の設問の一部を次のように修正した。 図○○のように四角形ABCDをかき、その各辺を3倍に拡大した四角形EFGHをかきなさい。・・・	編集方針(6)に基づく。
	104	1	修正	Qの設問を次のように一部修正した。 図○○のように四角形ABCDをかき、点Oを適当にとります。次に頂点A・・・となるようにとります。	編集方針(6)に基づく。
	105～193	図	修正	各図の寸法線は削除し、値のみを記した。	編集方針(8)④に基づく。
	106	10	修正	内積と外積の関係を示した図は、「 $a : b = m : n$ ならば $an = bm$ 」のあとに挿入した。	編集方針(3)②に基づく。
	108	絵	修正	絵は略図で示した。	編集方針(8)①に基づく。
	110	図	修正	矢印を削除し、抜き出す三角形を裏点でうめた。	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	111	図	修正	矢印を削除し、抜き出す三角形を裏点でうめた。	編集方針(8)①に基づく。
	113	絵	修正	絵を略図で示した。	編集方針(8)①に基づく。
		17	修正	写真の必要な部分を点図にし、問11を次のように修正した。 「図〇〇は、Aさんが小学校に入学したときに写した写真から、その概形を図にしたものです。校門の・・・」 *長さは原典と同じにした。	編集方針(8)①に基づく。
	115	絵	修正	ノートの絵を略図にした。	編集方針(8)①に基づく。
	123	図	修正	問1の②③の図については、記号をつけて長さを示した。	編集方針(8)④に基づく。
	125	図	修正	3の②の図については、記号をつけて長さを示した。	編集方針(8)④に基づく。
	127	写真	差し替え	角度を測っている様子を表した写真は削除し、簡略化した図で示した。	編集方針(8)①に基づく。
	129	絵	削除	ワニ、ライオン、ゾウの絵は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	131	図	修正	方眼は、ひとつのマス目幅を大きくし、マス目の数を減らして示した。	編集方針(8)①に基づく。
	136	21 絵	削除 修正	「数学のまど」の絵は削除し、簡略な図として示した。本文を一部修正した。 「・・・。当時の人たちは図〇〇のように、縄の上に等しい間隔で結び目を作り、その縄を3、4、5の割合に折り・・・」	編集方針(8)①に基づく。
	137	図	修正	「数学のまど」の円弧を利用して平方根の長さを描く方法を示した図については、弧の数を整理して触覚的に理解しやすくした。	編集方針(8)①に基づく。
	142	写真	削除	教室の写真は削除した	編集方針(8)①に基づく。
	145	図	削除	例2の図中の等長記号は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
		写真	削除	ロープウェイの写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	148		修正	問題2の図中の色の付いた部分は、裏点で表し、設問の一部を以下のように修正した。 「・・・。このとき、裏に出した点でうめた部分の面積の和は・・・」	編集方針(8)①に基づく。
		写真	削除	「調べてみよう！考えてみよう！」の写真を削除した。	編集方針(8)①に基づく。
149	図	差し替え	問題文と図を次のように差し替えた。	編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	149			<p>2 模型を次のような順序で作ります。(図6-〇(1)～(4))</p> <p>(1) 直角三角形ACGをかき、辺AGを一辺とする正方形AGDE、辺CGを一辺とする正方形CFBGをかきます。点Bと点Dを結んで六角形を作り、切り抜きます。</p> <p>(2) 辺FEで切り、二つに分けます。</p> <p>(3) 右半分を裏返しにします。</p> <p>(4) 点Aと点B、点Cと点Dをそれぞれ結びます。</p> <p>(1)の正方形AGDE、正方形CFBGの2つの面積と(2)の正方形ACDBの面積を比べて、三平方の定理を導いてみよう。</p> <p>ヒントさん「(1)と(4)の図から2つの直角三角形を取り除いてみよう。」</p>	
	150	絵	修正	<p>論理パズルの絵は削除し、人物の吹き出しのみをいかけた。</p> <p>A「わたしは正直者です。」 B「Aはうそつきです。わたしが正直者です。」 C「Bはうそつきです。ほんとうは、わたしが正直者です。」</p>	編集方針(8)①に基づく。
		絵	削除	サッカーボールと人の絵は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	152	絵	削除	絵を削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	160	写真	差し替え	<p>写真を削除し、次の文章と差し替えた。</p> <p>ヒントさん「栃木県の東武ワールドスクウェアには、実際の25分の1の大きさの建築物がたくさんあって、東京タワーの模型もあるよ。」</p>	編集方針(8)①に基づく。
		図	修正	立方体の見取り図は、上から見た図のみで示した。	編集方針(8)①に基づく。
	164	絵	修正	家の絵を略図にして示した。	編集方針(8)①に基づく。
		写真	削除 修正	<p>白川郷の写真は削除し、本文を次のように修正した。</p> <p>「白川郷(岐阜県)のように、雪国には、急勾配の・・・」</p>	編集方針(8)①に基づく。
	165	図	修正	問1の傾斜を示した図は、触覚的に理解しやすくするために線分の数を整理するとともに、物差しの目盛りを5mm刻みとした。	編集方針(8)①に基づく。
		写真	差し替え	<p>家の写真は削除し、簡略化した点図で表し、問2の設問を次のように修正した。</p> <p>「図〇〇は、五箇山(富山県)にある家をうつした写真から、その概形を図にしたものです。家の・・・」</p>	編集方針(8)①に基づく。
	166	図	差し替え	最初の立方体の見取り図は削除し、0～3の立方体の図は、次のように文章化した。	編集方針(8)①に基づく。

学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	166			「小さな立方体を色のついている面の数で分類すると、全く色のついていないもの、1面のみに色のついているもの、隣りあう2面のみに色のついたもの、隣りあう3面のみに色のついたものの4通りの場合に分けられる。それを、それぞれ[0]の場合、[1]の場合、[2]の場合、[3]の場合ということにする。」	
	167	図	差し替え	立方体の図は上から見た図のみで示した。	編集方針(8)①に基づく。
	168	図	差し替え	立方体の図は上から見た図のみとし、問8の前に次の説明を加えた。 ヒントさん「たとえば、もとの立方体の1辺が4cmのときを考えると、色が一面も塗られない立方体は図〇〇の実線でかかれたものだね。」	編集方針(5)、(8)①に基づく。
	169	写真	差し替え	さしがねの写真は点図化して示した。	編集方針(8)①に基づく。
	170	絵	削除	絵は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	171	写真 15	差し替え	写真のコピー機のボタンの一部分を表〇〇のように表し、次の文を追加した。 「コピー機には表〇〇のように示されていますが、本当かどうか確かめてみよう。」	編集方針(8)①に基づく。
	172	写真	削除	時計台の写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	173	写真	差し替え	ミロのビーナスの写真は、略図化して点図で表した。	
		写真	差し替え追加	パルテノン神殿の写真は略図を示し、次の文章を加えた。 ヒントさん「図〇〇は、ギリシャのパルテノン神殿だよ。どこに黄金比がかくれているのかな？」	編集方針(5)、(8)①に基づく。
	174	絵 写真	差し替え	絵は略図で示し、2つの文章は、次の文章と差し替えた。 「アルゼンチンでは、温暖化のため氷がとけ、高さ百メートル以上の氷河が海に崩れ落ちています。」 「インド洋に浮かぶモルディブ諸島は珊瑚礁の美しい島々ですが、海抜が低いため水没し、国そのものが無くなることも心配されています。」	編集方針(8)①に基づく。
	175	17 図	差し替え	写真を削除し、本文中に説明を加えた。 「・・・増え続けています。産業革命の頃のイギリスでは、蒸気機関車が走り、大量の石炭を使用しました。もし、二酸化炭素の濃度が・・・」	編集方針(8)①に基づく。
176	表	修正	表中の西暦の表記を4桁から2桁に省略し、注でその説明を記した。	編集方針(3)ウに基づく。	

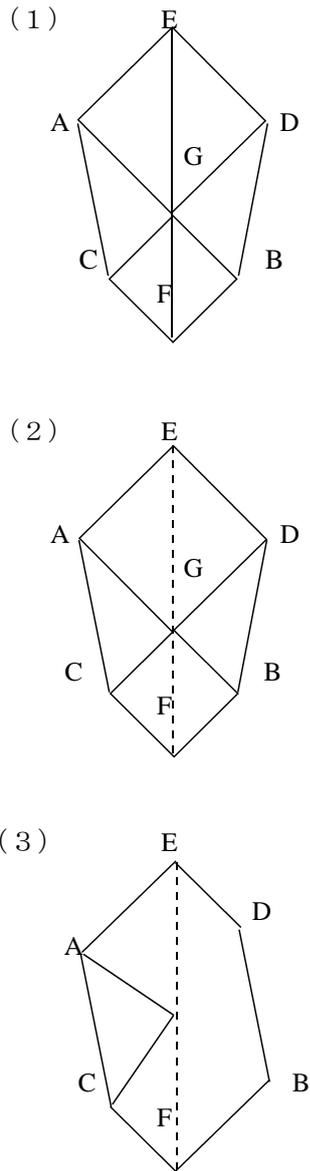
学年	ページ	行	修正事項	編集内容	備考
3年	177	図	差し替え	図を削除し、以下の文章と差し替えた。 ヒントさん「お母さんが、まなぶさんの部屋をのぞいたら、クーラーがついていて、電気スタンドもついていたよ。CDラジカセやテレビ、パソコンもつけたまま、お昼寝をしていたよ。まなぶさんは、どんな工夫ができるかな。」	編集方針(5),(8)①に基づく。
	178	写真	差し替え	「塵劫記」における木の高さを測る方法を示した写真は削除し、略図に差し替えた。	編集方針(8)①に基づく。
		写真	削除	「塵劫記」のねずみ算の写真は削除した。	編集方針(8)①に基づく。
	179	写真	修正	写真を削除し、次のように文を修正した。 「横浜ランドマークタワー(神奈川県)の展望台からの景色は、どのくらい遠くまで見えるのでしょうか。」	編集方針(8)①に基づく。
	180	2	修正	写真を削除し、次のように文を修正した。 「正方形ABCDを図〇〇のように、頂点Aが辺BC上にくるように折ります。」	編集方針(8)①に基づく。
	188	絵	差し替え	ロッカーの絵は削除し、略図と差し替えた。	編集方針(8)①に基づく。
	189	絵	差し替え	俵の絵は削除し、略図と差し替えた。	編集方針(8)①に基づく。
	194	絵	差し替え	新聞を示した絵は、略図と差し替えた。	編集方針(8)①に基づく。
	裏見返し裏	写真	差し替え	次の文章を加え、P.178に挿入した。 「・・・かかれています。そこには「一」「十」「百」「千」の後は4桁ごとに「万」「億」「兆」「けい」「がい」「じょ」「じょう」「こう」「かん」「せい」「さい」「ごく」「こうがしゃ」「あそうぎ」「なゆた」「ふかしぎ」「むりょうたいすう」であることがしめされています。」	編集方針(8)①に基づく。
	裏見返し	図	追加	次の文章を加え、P.148に挿入した。 「次に示した図〇〇から〇〇は、三平方の定理の証明の一部を示したものです。図からその方法を考えてみましょう。」	編集方針(8)①に基づく。
裏見返し	1	修正	次のように修正して示した。 図形の関連 3年生で学んだ図形の関連についてまとめてみましょう。学んだ図形の性質などは、大きく次の2つのグループに分けられます。 A 相似 B 三平方の定理 各グループの中の□にあてはまることばや記号を、入れてみよう。」	編集方針(8)①に基づく。	

学年	ページ	行	修正 事項	編 集 内 容	備 考
3年	裏見返 し			(注) 各グループ内の項目には、関連する順にA 1 A 2・・・のように番号をつけました。また、性質 はs 1 s 2・・・, 条件はj 1 j 2・・・と表示 してあります。	

- (1) 図6-48(1)のように直角三角形ACGをかき，辺AGを一辺とする正方形AGDE，辺CGを一辺とする正方形CFBGをかきます。点Bと点Dを結んで六角形を作り，切り抜きます。
- (2) 辺FEで切り，二つに分けます。(図6-48(2))
- (3) 右半分を裏返しにします。(図6-48(3))
- (4) 図6-48(4)のように点Aと点B，点Cと点Dをそれぞれ結びます。

ヒントさん「(1)と(4)の図から2つの直角三角形を取り除いてみよう。」

図6-48



(4)

